

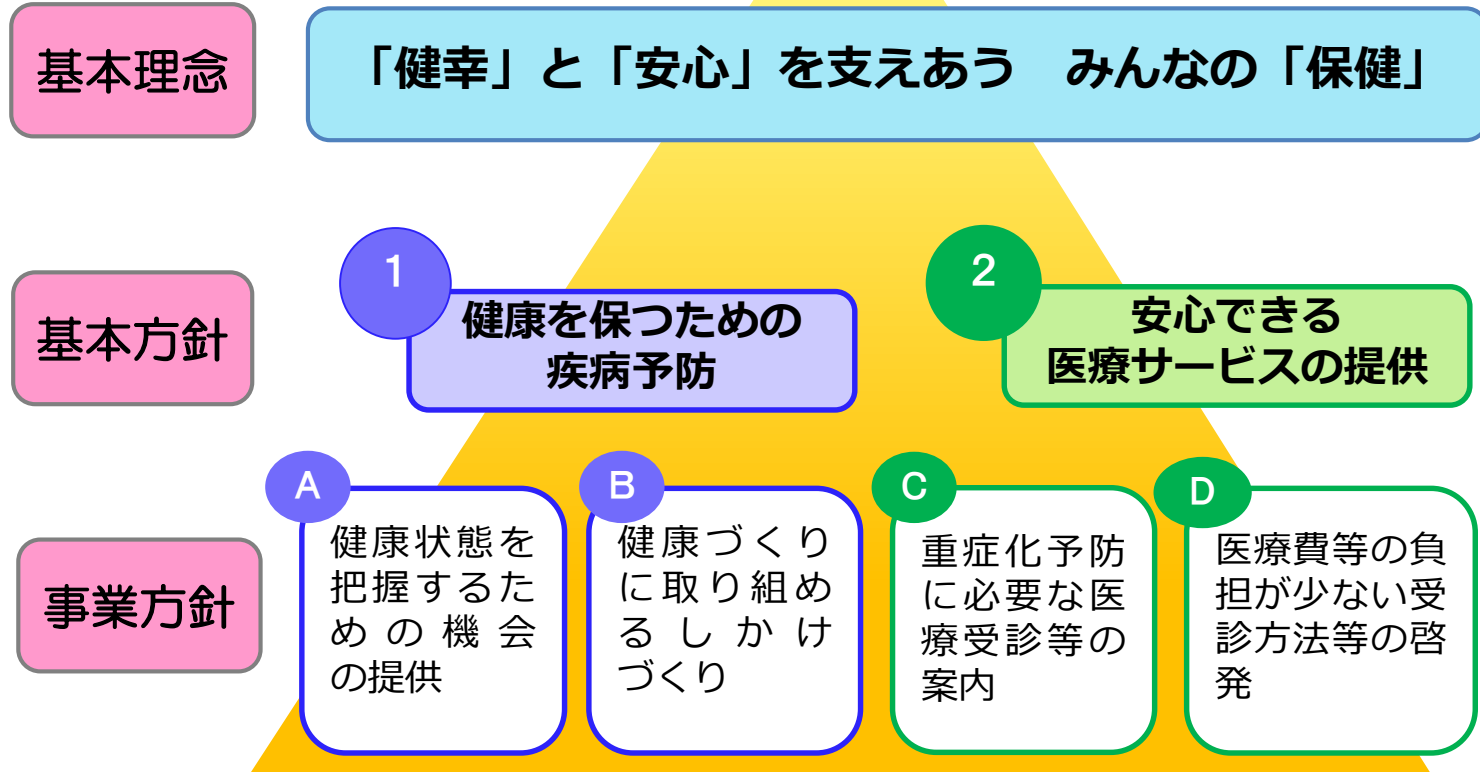
安城市国民健康保険 データヘルス計画の 進捗状況及び中間評価 について



令和3年1月21日（木）

第2回安城市国民健康保険運営協議会

計画の体系



事業方針と対応する個別事業

| 基本方針 | 事業方針 | | 個別事業 |
|------------------------------------|------|-------------------------|--|
| 1 健康を保つための 疾病予防 | A | 健康状態を把握するための機 会の提供 | 1. 特定健康診査事業 2. 特定健康診査受診勧奨事業 3. 早期介入健診事業 4. がん検診事業 |
| | B | 健康づくりに取り組める しかけづくり | 1. 特定保健指導事業 2. 特定保健指導未利用者対策事業 3. 健康意識向上の取組事業 |
| 2 安心できる 医療サービスの 提供 | C | 重症化予防に必要な 医療受診等の案内 | 1. 「糖尿病」及び「糖尿病性 腎症」の医療受診勧奨事業 2. 「高血圧」及び「脂質異常症」 リスク保有者への情報提供事業 |
| | D | 医療費等の負担が少ない 受診方法等の啓発 | 1. ジェネリック医薬品等の 啓発事業 2. 各種啓発事業 3. 医療費通知事業 |

中間評価の目的

第2期安城市国民健康保険データヘルス計画（平成30年度～令和5年度）は、中間年度である令和2年度に計画全体の評価を行い、以下の要因に応じて、必要な場合には国保運営協議会の意見を踏まえ、計画の中間見直しを検討することとされています。

- ・ 基本方針の評価指標の目標達成状況
 - ・ 医療、健康データの変化
 - ・ 社会情勢の変化
- 等

中間評価の流れ

現時点で判明している数値を基にデータヘルス計画の目的達成のため、各個別事業が効果的に進捗状況を評価し実施できているかを評価します。また、必要が生じた場合には目標値の見直しを行います。

今回の中間評価については、愛知県国民健康保険団体連合会が主催する「保健事業支援・評価委員会」において専門家による監修・指導を受けたものになります。

中間評価の進捗状況を踏まえた中間評価結果

保健事業全体の評価として掲げる2つの基本方針に関しては、いずれも目標が達成できる見込みです。

(詳細は中間評価報告書(案)のP51参照)

基本方針1

健康を保つための疾病予防

指標：生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合

基本方針2

安心できる医療サービスの提供

指標：年齢構成が国と同じ場合の1人当たり医療費

中間評価の進捗状況を踏まえた中間評価結果

個別事業の達成状況等については、4つの観点から改善すべき点を明らかにしています。

(詳細は中間評価報告書(案)のP24~27参照)

| 評価 | 評価基準 | 実施体制 | 実施方法等 | 実施量・実施結果 | 成果 |
|----|-----------------------------------|------|-------|----------|----|
| A | 目標値を達成できている | 13件 | 17件 | 12件 | 6件 |
| B | 実績値は改善している (今後目標達成見込み) | 0件 | 0件 | 1件 | 4件 |
| C | 実績値は横ばい又は悪化している (今後目標達成見込み) | 0件 | 0件 | 2件 | 1件 |
| D | 実績値は悪化し、改善の見込みがない (目標値の見直しが必要) | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 |
| E | 集計方法の変更等により 評価が困難である | 0件 | 0件 | 1件 | 1件 |

目標が達成できていない事業の対応

1. 特定健康診査事業

特定健康診査の受診勧奨時期や通知物のデザイン等の見直しを実施する。

2. 早期介入健診事業【ヤング健診】

未受診者への受診勧奨通知の送付等の新たな啓発を実施する。

3. 特定保健指導事業

特定保健指導を利用しやすい実施体制の検討や、啓発品の活用を検討し実施する。

4. 特定保健指導未利用者対策事業

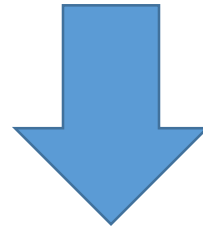
令和2年度から未利用者への文書による再勧奨を始めたため、これを継続する。

5. ジェネリック医薬品等の啓発事業

令和2年度からジェネリック医薬品を利用した際の差額通知の対象者を拡大したため、これを継続する。

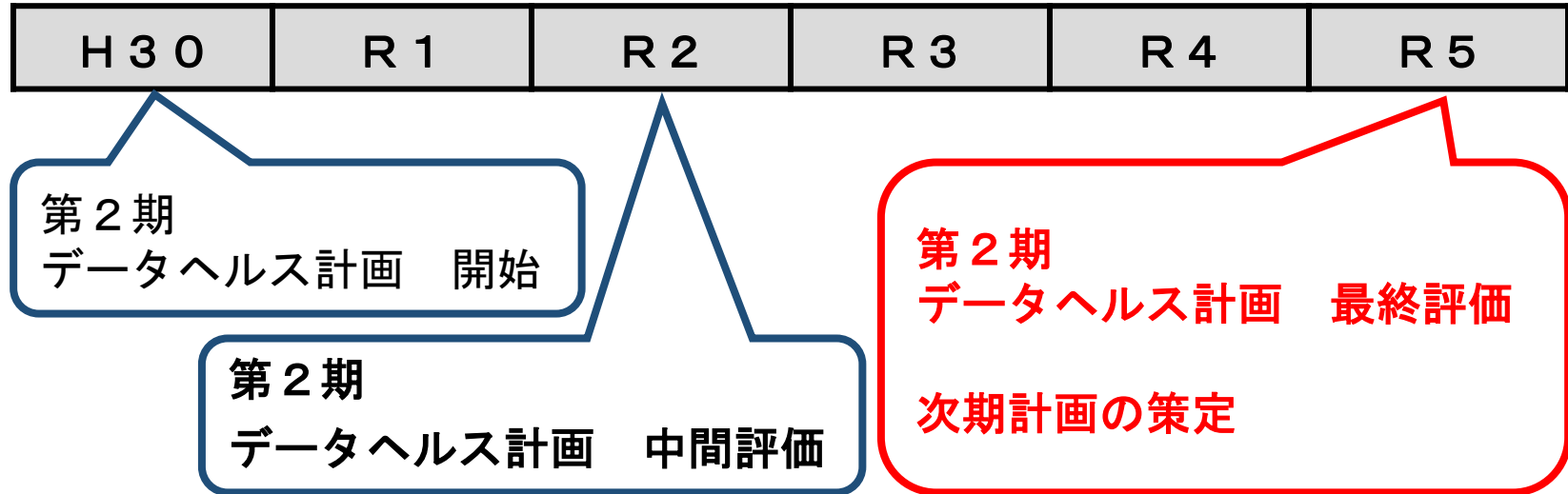
中間評価の目標値見直し

毎年1月頃に開催する国保運営協議会の中で各保健事業の実施方法などを見直しており、データヘルス計画の基本方針、個別事業いずれに関しても多くの目標が達成できています。現段階では目標未達成の項目についても、最終評価に向けて概ね目標が達成できる見込みです。



中間評価における各目標値は据え置きとし、運用方法を改善することで、最終評価における目標達成を目指します。

データヘルス計画の今後の流れ



今後も毎年各保健事業の実施方法などを見直す
P D C A サイクルに沿った運用を行います。

最後に

ご傾聴いただき、ありがとうございました。

今後もデータヘルス計画に対してご意見を賜りますようお願いいたします。

